

令和2年度 第4回東海村高齢者福祉計画推進委員会 議事録

●日時：令和3年1月6日（水）午後6時30分～午後8時

●出席者：【委員】薄井委員長，藤澤委員，土屋委員，山本委員，並木委員，上条委員，妹尾委員，齋藤委員，砂押委員，小池委員，三田委員，小野寺委員，朝岡委員，深谷委員，鹿志村委員

【事務局】（高齢福祉課）佐藤課長，藤田副参事，佐々木補佐，三瓶係長，前田係長，川上係長，ヴァキリ主任，佐野主事，井上主事，上田（記録者）
（福祉総務課）渡邊係長，（健康増進課）平野係長

●欠席者：藤田委員，綿引委員

1 開 会

2 高齢福祉課長挨拶

3 委員長挨拶

4 議 題

（1） 第8期高齢者福祉計画・介護保険事業計画について

事務局	資料1について説明 ○資料の訂正の説明。「終末期の」とあったが，終末期だけでなく介護全体に関する講座も入るので「終末期の」を削除したので資料の訂正していただきたい。 ○計画案について，資料の通り重要な箇所のみ抜粋して説明。
委員	16～17ページで利用したいメニューが運動教室で，妨げになっているのが事業を知らないこととなっているが，総合相談支援の強化を重点としているが，これがその対策ということでしょうか？
事務局	おっしゃる通り，こういったアンケート結果を基にして重点として追加した。また，それ以外にも地域包括ケアシステムとして，介護だけでなく，高齢者がいろいろなことに関して相談できるようにするために，高齢福祉課だけで相談が難しい部分も他機関間を連携して対応するために位置づけた。
委員	アンケート結果にもあるが，相談場所に行くためのアクセス方法（移動支援やICTなど）も含めて検討していただければと思う。
委員	移動手段としてのデマンドタクシーについて話したい，問題点として電話がなかなかつながらない。また，目的地に着いて帰る時に，用事を済ませてからタクシーを呼んだとき，2時間待ちというのが，私でも5回あった。1時間かけて歩いて帰ることが私はできるが，歩行困難な人は帰るのは難しいので，デマンドタクシーをスムーズに使えるようにしてほしい。

事務局	そのようなことがあるのは理解している。ここで別紙を見ていただきたいが、前回の委員会でのご意見を踏まえて回答を作成した。妹尾委員のご意見に関することは③の部分になる。今のお話と、利便性が低いと使いにくいということも伝える。また、移動支援に関して、デイサービスの空き車を使ってはどうかということも担当課に伝えている。高齢者の移動支援についても担当課と一緒に考えていく。担当課では「いつもの暮らしの“あし”を考える」というワークショップを行っている。現在はコロナでできていないが、今後は各地域でワークショップを考えている。
委員長	高齢福祉課の考えはわかったが、高齢福祉課としては高齢者福祉計画・介護保険事業計画のどこに施策として落とし込んでいるのか？
事務局	高齢者福祉計画・介護保険事業計画の施策としてはないが、従前からの課題なので、担当課と一緒に考えていく。
委員長	実際に村の施策として高齢者福祉計画ではなくても村の総合計画の中に位置づけられているのか？施策になっていないと、PDCA サイクルで検証ができない。このようなアンケートをせっかくやっているのだから、アンケート結果を反映させてほしい。
事務局	第 6 次総合計画のなかでも横断的に取り組む事案として、自家用車がなくても移動できる公共交通が位置づけられているので、担当課と一緒に施策を考えていくということになる。
委員	認知症については、人との関りを断つと認知症が増えると言われているが、認知症予防教室の開催（48 ページ）の中で通所型や出張型を行うとしているが、コロナ禍ということを意識して計画に位置付けていってほしい。
委員長	今の話に付随するが、コロナは先行きが全く分からない。ワクチンがいきわたって集団免疫を得るのははるか先になると思う。その中で、計画の目標値はコロナがなくならなければ、不可能な設定になっていないか？平成 30 年度の実績値を目標値として設定しているように見える点も疑問がある。目標値通りにできなかったとして、PDCA を回すときにコロナだからできなかったに終始しても意味がないのではないか？この計画値で妥当なのか、事務局の今の考えがあればお答えいただきたい。
事務局	例えば 48 ページの地域介護予防活動支援事業については各団体のやりたい思いがあり、最初から下げた目標を書いてしまうと、団体の活動をしている人のモチベーションを下げてしまうと思うので、計画値に関してはこのようにした。
委員	認知症予防教室については、現地に行くというのは難しいと思う。高齢者はそれが怖いと思っている。コロナ対策のためにも密にならないようにしてほしいので、そのような点を踏まえて、通所や出張だけでなく、その他のやり方を検討して、細かくニーズに合わせてやってほしい。

委員長	現在のコロナの状況において、48ページ上段の認知症予防教室でも通所型、出張型は難しいだろうし、動画配信サービスは何をもって1回とするのか。配信回数か、視聴者数か？また、48ページの下段の地域介護予防活動支援事業についても目標値を下げたからと言って、活動団体のモチベーションを下げることはないのではないか。73ページの認知症初期集中支援チームは、私もチームの一員だが、たった4人の会議なので、リモート会議システムを使って回数を増やすことができるから目標値としては理解できる。ただ、他の事業ではコロナ禍ではとても目標値通りできないと思われるものがあるので、その辺りを検討してほしい。委員会でのこのような意見があったことを覚えておいて検討してほしい。
委員	意見と質問がある。 コロナ禍を踏まえて検討してはという意見があったが、PDCAを回さなければならないという点において薄井委員長と同じ考えである。PDCAや評価方法が計画の目標達成の縛りになるのか？例えば交付金が減額になったりするのか？厚労省からこのようにやるように言われているのであれば仕方ないが、大学ではPDCAをちゃんと回さないと交付金の減額ということになるので、PDCAというものを頭の中に入れておいて計画を決めてほしい。 13ページの介護給付費の推移のところでH29から増加は高齢者人口が増えているからか？ 13ページでは施設サービスは増えているが、在宅サービスが減少している。これは近隣でも同じ傾向になっている。これはどういう要因だと行政では分析しているのか？在宅サービスが減っているというのは、利用者ニーズとしては在宅サービスを望まないで、施設サービスを希望しているということはないか？また、反面91ページでは計画として居宅サービスを増やしていき、施設系は減らしていくと見込んでいるがこのあたりについてはいかがか？
事務局	分析としては、今在宅サービスが不足しているから施設を利用せざるを得ないことが要因の1つと分析し、計画では在宅サービスを充実させるために数値を増やしている。このため、小規模多機能型居宅介護やグループホームなどを増やしている。
委員	在宅サービスができないということは人材不足ということが原因と考えているのか？
事務局	ニーズ調査や在宅生活実態調査を行ったところ、東海村は高齢者夫婦二人世帯が多いということが出ているので、どちらかが欠けたときに、施設に移っていく人が多いということと思っている。なので、1人になったときに支えられるサービスを増やしていく必要があると考えている。

委員	それが東海村の高齢者の傾向なので、そういったことを計画に明記しては？また、夫婦の片方が亡くなって収入が減になっても施設に入れるだけの収入・資産があるということも東海村の特徴だともいえる。これは他の地域とは異なること。大体年金暮らしで、片方が亡くなると収入が減り、そのまま貧困になるということが多い。 15 ページで、介護が必要になったときに不安なことという項目で、73%が家族の負担をかけることという結果が出ている。介護は自己決定によるものだが、本音はどのようなことを考えているのか知りたい。エンディングノートを作ったりすることで、家族への負担を減らせたりするのではないかと思う。高齢者が、家族への負担をかけるということの中身をどう考えているか今後のアンケート調査の時に掘り下げてほしい。
委員長	フォーマットが決まっているアンケート調査を行っているのは理解しているが、そのアンケートとは別に母数を少なくして、数十人でもいいので、アンケート調査を行ったら、いい情報を得られると思うので、このような貴重なアンケート結果を生かしてほしい。

(2) その他

事務局	別紙（前回の委員会での意見に対する事務局の回答）の説明
委員	②（人材育成）について ちいすけ水戸を担当しているのがいばらき中央福祉専門学校を運営している法人で、私が東海村にちいすけ水戸の話をしたことを言ったら、ぜひ伺って話をしたいということだったので、私の方でマッチングする。
事務局	事前に回収した委員からの意見について（③の交通手段について）
委員	（交通手段について）ニーズを見ていくと、やってあげたいという思いと、やってほしいという思いに共通点があり、マッチングできれば解決できるのではないかと思った。また、坂道の上に住んでいる人は坂道を上り下りするのも大変ということだったので、地域を走らせる移動支援があるといいと思う。
委員長	地域支え合い体制整備事業がまさに該当する事業。できれば今後の方針に需要側と供給側がマッチするように行うことを、「今後の方針」に反映してほしい。

事務局	今後のスケジュールについて パブコメを 1 月 25 日に実施する予定だが、今回の委員会の内容を反映させて、次の委員会に諮り、最終決定をさせていただきたい。その後、3 月に役場内で合議を図って、計画の決定ということになるので、よろしくお願いしたい。
-----	--

5 閉 会